

2023年度(評価対象期間:2023年4月~2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)心身科学研究科は心理学専攻、健康科学専攻の2つの専攻からなり、それぞれの分野の先端的領域の研究者、あるいは高度な専門職業人の育成を目的として「人材の養成・教育研究上の目的」を設定している。また、その内容が適切であることを適宜研究科内で確認している(根拠資料 1-1心研、1-2心研)。</p> <p>(2)心身科学研究科は、愛知学院大学の建学の理念である「行学一体・報恩感謝」の精神に則り、人間探求を心身の2方向、すなわち心理学的視点と身体的視点から「真理の探究」・「知識の修得」を進め、得られた知を通して人間的完成と社会貢献という「知の実践」をすることを目指している。よって大学の理念・目的と研究科の目的は密接に関連している(根拠資料1-3心研)。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
1-1 心研 愛知学院大学 大学院要項 p3【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/life/life-i.pdf 】				
1-2 心研 心身科学研究科自己点検・自己評価委員会2023年度議事録				
1-3 心研 「建学の精神「行学一体・報恩感謝」・教育理念」【 https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/ideal.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)愛知学院大学大学院学則第1条の3第1項において、本大学院は、研究科、専攻ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め、広く社会に公表する、および第2項において、前項の目的は、別に定めると規定され、「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示している。また、心身科学研究科心理学専攻および健康科学専攻の目的は大学院要項にそれぞれ明記されている(根拠資料1-1心研、根拠資料1-4心研)。</p> <p>(2)②(1)に示した大学院要項は、教職員、学生に配布されるのみならず、大学院のウェブサイトにて公表されている(根拠資料1-1心研)。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
1-4 心研 愛知学院大学大学院学則(令和5年4月1日施行)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/rules/rules-a.pdf 】				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2023年度(評価対象期間:2023年4月~2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。 ※各学部・研究科の自己点検・自己評価委員会の年2回以上の開催及び委員会での取り組み内容について具体的に記載してください。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心身科学研究科では前年度の指摘に基づき、2023年度は大学院委員で構成された自己点検・自己評価委員会を構成し、年2回の会議を行った。第1回は2023年10月に、TeamsによるChat機能と対面会議の両方で、特に定員問題について検討を行った。第2回は、2024年3月に、TeamsによるChat機能を用いて、この自己点検・自己評価シートの各基準について検討・情報共有を行なった。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
2-1 心研 心身科学研究科自己点検・自己評価委員会2023年度議事録				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準2」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2023年度(評価対象期間:2023年4月~2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心理学専攻および健康科学専攻の各専攻科において、博士前期課程と博士後期課程それぞれの学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を研究科会議で検討・承認し、それらを公開ウェブ上、及び大学院要項において公表している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-1 心研 博士前期課程ディプロマ・ポリシー 【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma02.pdf 】				
4-2 心研 博士後期課程ディプロマ・ポリシー 【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma03.pdf 】				
4-3 心研 愛知学院大学 大学院要項 p6,p9 【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/life/life-i.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な関連性がありますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心理学専攻および健康科学専攻の各専攻科において、博士前期課程と博士後期課程それぞれの教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)について以下の根拠資料に示すように設定し、それらを公開ウェブ上及び大学院要項において公表している。</p> <p>(2) 公表されているカリキュラム・ポリシーに則って編成・実施されている教育課程を修了した学生について、博士前期課程の修論審査及び博士後期課程の公開審査においてそれぞれディプロマ・ポリシーを満たすことを確認して学位を授与しており、カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの適切な関連性を確認している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-4 心研 博士前期課程カリキュラム・ポリシー 【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum02.pdf 】				
4-5 心研 博士後期課程カリキュラム・ポリシー 【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum03.pdf 】				
4-6 心研 愛知学院大学 大学院要項 p13,p17 【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/life/life-i.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 <学士課程> 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 <修士課程、博士課程> コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心理学専攻博士前期課程では心理学基礎コースと臨床心理学コースを設置し、博士後期課程ではコース設定をせずに心理学主要専門領域について選択できる編成となっている。健康科学専攻博士前期課程では、健康スポーツ科学、健康教育科学、精神健康科学、生命健康科学、言語聴覚科学、健康栄養科学の6つの専門領域のコースを編成し、博士後期課程では健康増進科学研究と言語遺伝情報研究の2つの専門領域のコースを編成している。両専攻のそれぞれのコースについて、教育課程との整合性を確認している(根拠資料4-7心研)。</p> <p>(2) 心理学専攻、健康科学専攻のいずれのコースについても順次性および体系性が適切になるように配慮した編成となっている。とりわけ心理学専攻博士前期課程における公認心理士・臨床心理師の資格課程、および健康科学専攻博士前期課程における教職課程専修免許取得のための該当科目の設定については必要条件を満たしている。</p> <p>(3) 心理学専攻および健康科学専攻各々において、個々の授業科目の内容及び講義・演習・実習については教育課程の編成・実施方針を踏まえて決定されている。さらに個々の授業について到達目標・内容・方法・評価基準はシラバスに明記され、第3者を含めたシラバスチェックを行うことでカリキュラム・ポリシーとの整合性についても確認されている(根拠資料4-4心研、4-5心研、4-7心研)。</p> <p>(4) 心理学専攻および健康科学専攻各々において、講義と演習で主に構成されるコースワークに専修科目(心理学専攻)あるいは専攻科目(健康科学専攻)を担当する指導教員によるリサーチワークを組み合わせた構成となっており、コースワークは履修者が自らの専門コースに合わせて適切に選択できるように配慮されている。</p> <p>(5) 心理学専攻および健康科学専攻各々において、各専門領域で高度専門職業人あるいは研究者として社会的及び職業的に自立できる能力を習得することはディプロマ・ポリシーに明記されており、講義科目に加えて、演習科目、実習科目を通してこれらの能力を育成するためのコースワークとリサーチワークが編成・実施されている(根拠資料4-1心研、4-2心研、4-7心研)。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-7 心研 愛知学院大学大学院学則 別表2-1,II (令和5年4月1日施行) 【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/rules/rules-a.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。また、授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。(教員・学生間や学生同士のコミュニケーション機会の確保、グループ活動の活用等)	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 <学士課程> ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 <修士課程、博士課程> ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 単位取得に必要な実質的な授業時間、授業外の予習・復習時間およびその内容、質疑応答方法などについては開講されているシラバス全てに明記、公開されている(根拠資料4-8心研)。</p> <p>(2) それぞれの授業について、授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準はシラバスに明示されている(根拠資料4-8心研)。加えて授業内容の専門性が高度であることから、第三者によるシラバスチェックを研究科専任教員で役割を分担することで可能な限り授業内容とシラバスの整合性を担保するようにしている。</p> <p>(3) 心理学専攻および健康科学専攻各々において、博士前期課程、博士後期課程ともにとりわけ実習科目の中で、学生の主体的参加により座学で習得した知識や技術を応用する教育課程の編成となっている(根拠資料4-7心研)。さらに教員間でも、FD活動などを通して、講義・演習科目でもアクティブラーニングの導入を促す取り組みをしている。</p> <p>(4) 心理学専攻および健康科学専攻各々において、研究指導概要と年間スケジュールは大学院要項(根拠資料4-9心研)に明示され、それに基づいた研修指導が実施されている。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-8 心研 WebCampus シラバス検索【 https://wcs.agu.ac.jp/campus/top.do 】				
4-9 心研 愛知学院大学 大学院要項 p23,24【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/life/life-i.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点	自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2) 成績評価の客観性、厳格性、公正性、公平性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3) 卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(4) <修士課程・博士課程> 学位論文審査基準を明示し、公表していますか。	A
		(5) 学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(6) 適切に学位授与を行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心身科学研究科では、単位設定と単位認定については愛知学院大学大学院学則のそれぞれ第6条と第8条に則っている(根拠資料4-10心研)。</p> <p>(2) 成績の評価方法については、方法とそれらの割合、評価基準について各授業のシラバスに示されており、その内容の客観的妥当性や公平性については第三者を含むシラバスチェックにて確認している。成績の判定は愛知学院大学大学院学則の第8条に則っている(根拠資料4-10心研)。</p> <p>(3) 心身科学研究科の修了要件は大学院要項の授業科目・担当教員・履修方法に示され、公開されている(根拠資料4-11心研)。</p> <p>(4) 心身科学研究科の博士前期課程における修士論文審査は、愛知学院大学学位規則 第3章 修士学位の第7条～第9条に則したものであり、大学院要項の修士論文に指示された条件を満たして提出された修士論文について、大学院要項の愛知学院大学大学院学位論文審査基準に示されている基準項目について審査判定される。修論審査は口頭試問を含めて主査1名、副査2名で審査し、その合格基準も規定されている。心身科学研究科の博士後期課程における博士論文審査は、愛知学院大学学位規則 第4章 博士学位の第10条～第26条に則して行われるものであり、大学院要項の「愛知学院大学大学院博士学位授与申請に関する内規」示されている条件を満たして提出された学位請求論文目録および学位請求論文などについて、研究科の委員3名と学外の専門家を加えた審査委員による公開審査会と非公開審査会において、大学院要項の愛知学院大学大学院学位論文審査基準に示されている基準項目について審査判定される(根拠資料4-11心研、4-12心研、4-13心研)。</p> <p>(5) (4) に述べた審査手続きに加え、前期課程・後期課程ともにそれらの審査結果の全成績を研究科委員会で開催して承認審議し、さらに全学レベルでの大学院会議での審議、承認を受けて学位授与を決定している。さらに試行段階ではあるが、修論審査における客観性を高めるために論文審査基準に示されている基準項目を踏まえたルーブリックによる評価の導入を進めている(根拠資料4-14心研)。</p> <p>(6) 博士前期課程・後期課程ともに(4)、(5)に述べた手続きを経て学位授与を行っており、これまでの学位授与で不適切と考えられる事例はでていない。</p>			
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>			
根拠資料名			
4-10 心研 愛知学院大学大学院学則(令和5年4月1日施行)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/rules/rules-a.pdf 】			
4-11 心研 愛知学院大学大学院要項 授業科目・担当教員・履修方法【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/life/life-j.pdf 】			
4-12 心研 愛知学院大学大学院学位規則(令和4年4月1日施行)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/rules/rules-b.pdf 】			
4-13 心研 愛知学院大学大学院要項 愛知学院大学大学院博士学位授与申請に関する内規【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/life/life-i.pdf 】			
4-14 心研 心身科学研究科2023年度修論審査ルーブリック評価表			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。 (特に専門的な職業との関連性が強いものにあつては、当該職業を担うのに必要な能力の修得状況を適切に把握できるもの。)	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 <<学習成果の測定方法例>> ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) ディプロマ・ポリシーを含めた3つのポリシーの研究科教育課程における学修成果を測定するためのアセスメントプランとして、心理学専攻博士前期課程ではGPA、博士後期課程進学者数、修了時アンケート、修了者数・修了率、修得単位数、就職状況、修士論文評価を指標とし、健康科学専攻博士前期課程ではGPA、修得単位数、修了者数・修了率、修士論文評価、就職状況、修了時アンケートを指標として検討している。同じく心理学専攻博士後期課程では修了者数・満了者数、GPA、修了・満了率、博士論文評価、進路状況を指標とし、健康科学専攻博士後期課程ではGPA、進路状況、修了・満了者数、博士論文、修了・満了率を指標として検討している(根拠資料4-15心研)。 (2) (1)に述べたアセスメントプランによる測定に加え、両専攻では修論審査の客観性を担保するために、博士前期課程のディプロマ・ポリシーに則った測定項目についてルーブリック表による評価方法の実用化を目指した試行を行っている(根拠資料4-14心研)。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-15 心研 愛知学院大学アセスメント・プラン【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/assessment_plan2023.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 研究科の大学院委員によって構成された研究科自己点検・自己評価委員会においてアンケート結果やGPAなどの数値測定結果について共有し、問題があれば委員会内での協議内容をさらに研究科委員会で検討・審議する体制にあるが、2023年度における研究科自己点検・自己評価委員会の検討でこの基準4についておおむね問題はなかった(根拠資料4-16心研)。 (2) 両専攻で目下の課題として修論審査におけるルーブリック表による評価方法の実用化を目指した試行を2022年度から進めており、2023年度は前回の試行結果を基に改善を行ったルーブリック表を用いての検討を行った(根拠資料4-14心研)。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-16 心研 心身科学研究科自己点検・自己評価委員会2023年度議事録				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に行っている場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2023年度(評価対象期間:2023年4月~2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心身科学研究科では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえた学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を研究科会議を経て設定し、それを大学院入試情報のウェブ上、学生募集要項において公表している(根拠資料5-1心研、5-2心研、5-3心研)。</p> <p>(2) 公開されている心身科学研究科のアドミッション・ポリシーに、求める学生像に必要とされる学習歴、学力水準、能力、意欲について明記されており、それらに基づいた願書審査および入試を行っている(根拠資料5-1心研、5-2心研、5-3心研)。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
5-1 心研 博士前期課程アドミッション・ポリシー 【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/admission02.pdf 】				
5-2 心研 博士後期課程アドミッション・ポリシー 【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/admission03.pdf 】				
5-3 心研 学生募集要項				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心身科学研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、募集は大学院の公開ウェブ、学生募集要項、大学院進学相談会および専任教員による学部ゼミ生への案内を主体に行い、受験資格、入試試験科目などを含めた入試情報が公開されている(根拠資料5-3心研、5-4心研)。</p> <p>(2) 心身科学研究科の入学者選抜の実施においては、研究科会議で承認された入試担当教員が出題、採点、口述試験、面接を行い、研究科長と研究科主任が入試実務に携わるなど、実施体制はこれまで適切に整備されている。</p> <p>(3) 入学者選抜については、とくに口述試験や面接では主査1名、副査2名による審査により公正性を担保し、記述試験の結果とともにそれらの審査結果は研究科会議で報告・審議され、さらに全学での大学院委員会において審議・承認の手続きを経ている。</p> <p>(4) 心身科学研究科では特にリスキングやリカレント教育を目的とした社会人の受け入れに積極的に取り組んでおり、社会人一般、社会人推薦入試では外国語試験の軽減による機会均等化の配慮を行っている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
5-4 心研 大学院入試情報公開ウェブ【 https://www.agu.ac.jp/examination/graduate/ 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	B
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 心身科学研究科の入学定員および収容定員は公開されており、研究科としては適切に設定されていることを確認している。2023年5月1日時点での博士前期課程の収容定員充足率は、心理学専攻で90.0%、健康科学専攻では40.0%であり、博士後期課程の収容定員充足率は、心理学専攻で8.3%、健康科学専攻では50.0%、研究科全体で29.2%であるが、健康科学専攻の3年次には博士論文作成のために在学延長中の学生が含まれている。大学評価ハンドブックに示されるように博士後期課程で0.33未満が目安としては是正基準となるため、特に博士後期課程の入学者を増やすことが課題として認識されている(根拠資料5-5心研)。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-5 心研 愛知学院大学大学院定員・在籍者数 2023年度【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/data/teiin2023.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 点検・評価項目③の定員充足率の問題について研究科の自己点検・自己評価委員会で改善策について検討され、さらに研究科会議において研究科両専攻の専任教員間で検討内容について情報共有している(根拠資料5-6心研)。 (2) 点検・評価項目③の定員充足率の問題については、両専攻のすべての専任教員間で共有認識されており、研究科として「4. 課題・問題点に対する改善策」に述べた内容を専任教員が実践することを引き続き継続している。				
[根拠資料名] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-6 心研 心身科学研究科自己点検・自己評価委員会2023年度議事録				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
点検・評価項目③	心理学専攻では博士前期課程の基礎系コースおよび博士後期課程の定員充足率、健康科学専攻では博士前期課程の定員充足率の改善が課題として存在する。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
点検・評価項目③	心理学専攻では臨床心理学コースの修士学生が基礎系分野の研究も選択可能なシステムを構築しており、博士後期課程にて継続して研究活動に取り組むことができる環境整備を行っている。健康科学専攻では引き続き学部4年生で研究継続に興味がある学生の勧誘、および他大学からの研究科関連領域に興味を持つ受験者の獲得を努力していく。またリカレント教育を含めた社会人の獲得にも引き続き努力する。両専攻科で博士後期課程の入学者を獲得するための対策として、特に研究科関連領域の専門職にある修士取得者(特に心理学専攻では、臨床心理士、公認心理師の免許取得者)で、アカデミアでのキャリア形成に関心がある、あるいは研究の更なる発展を目指す社会人の獲得に重点を置く。勧誘手段として、アカデミアで活躍するこれまでの博士学位取得者をロールモデルとして公式サイトで紹介する方法を検討する。これまでも社会人として職務を遂行しながらの就学を可能にするために、土曜通年集中の授業を隔年で提供することで、単位習得を2年間で行えるようにしているが、コロナ禍中に遠方の勤務先からの通学ができなかった学生に対しリモート授業を行った経験を踏まえ、授業の中に幾らかの割合でICT教育を導入することが有効であるかについても今後検討する。
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価 <p style="text-align: center; font-size: 24px;">B</p>
--	---

2023年度(評価対象期間:2023年4月~2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針(分野構成、各教員の役割、連携のあり方、教育研究に係る責任所在の明確化等)を適切に明示していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)心身科学研究科の専任教員組織の編成については、2020年3月6日付で当時の自己点検・自己評価委員会に提出した「心身科学研究科教員組織の編成方針」にその方針が明記されている(根拠資料6-1心研)。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-1 心研 心身科学研究科教員組織の編成方針				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教員組織の編制に関する方針と教員組織の整合性 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)心身科学研究科の専任教員は、心理学専攻博士前期課程が14名、心理学専攻博士後期課程が5名、健康科学専攻博士前期課程が22名、健康科学専攻博士後期課程が15名であり、心理学専攻の文学関係、健康科学専攻の保健衛生学関係における設置基準上必要な教員数を満たしている(根拠資料6-2心研、6-3心研)。</p> <p>(2)心身科学研究科においては幅広い専門領域に対応する実務系および基礎系の研究分野が開講され、常に学生のニーズに対応すべく専任教員が編成されている。両専攻とも、これらの研究分野の維持・拡充の必要性に応じて計画的に資格審査を行い、これまで適切な専任教員編成を維持してきている。</p>				

(3) 心身科学研究科の両専攻の各コースあるいは各専門研究領域について概ね適切な教員数の配置となっている。専門性に
 応じて臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、言語聴覚士、養護教諭、管理栄養士の専門資格および実務歴を有する専任
 教員が配置され、多様な専門職に対応できる体制にある。これまでの配置で教員間で負担の明瞭な偏りは生じていない。女性
 教員は約3割であり男女比の偏りも極端ではない。年齢構成は40歳代から70歳台と幅広く、定年退職を迎える教員が順次新任
 専任教員に置き換わる状況にある。

(4) 該当せず

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

6-2 心研 愛知学院大学大学院要項 授業科目・担当教員・履修方法【<https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/life/life-j.pdf>】

6-3 心研 愛知学院大学 教員情報検索ページ【<https://aris.agu.ac.jp/aiguhp/KgApp>】

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 研究科としての独立した専任教員採用を行っていないため、心理学部と健康科学部の教員からの昇任のみである。昇任人事については、資格審査委員会を組織し、それぞれの学士課程専任教員の中から随時資格審査を行い、審査結果について研究科委員会、つづいて大学院委員会での承認を経ている。</p> <p>(2) (1)を含め、資格審査基準については、愛知学院大学大学院 教員資格基準内規についての確認事項に則っている(根拠資料6-4心研)。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-4 心研 愛知学院大学大学院 教員資格基準内規についての確認事項				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。 ・教育改善以外に研究の活性化や社会貢献等の教員に求められる諸活動について資質向上を図る取り組みの実施 ※学部及び大学院について、それぞれの内容に特化したFD活動を行っているか、併せてご確認ください。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心身科学研究科では、両専攻がそれぞれ個別に、また必要に応じて合同で最低年2回のFD活動を学士課程とは別に実施している。2023年度は心理学専攻の第1回FD活動は心理学専攻研究報告会として対面形式で実施された。参加者は教員12名および院生21名(発表者9名、聴衆者12名)で、質疑応答を介して各研究の特長および改善点について活発な議論が展開された。健康科学専攻の第1回FD活動は夏期セミナーとして博士前期課程および後期課程の学生全員計9名が参加し、発表に引き続き、1名のオンライン参加を含む20名の教員による質疑応答を行った。その後指導教員と指名された大学院委員1名が評価・コメントをすることで、今後の研究や研究指導の改善に役立つものとなった。第2回活動は両専攻合同で、主に修論審査におけるルーブリック評価の導入に向けての問題点の検討と人を対象とする医学系研究の倫理的注意点についての情報共有を行った(根拠資料6-5心研、6-6心研)。</p> <p>(2) とりわけ専任教員としての資格審査対象となる教員について、資格審査委員会を組織し、委員が詳細に教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、その審査結果について研究科専任教員全体で情報共有した上で承認審議を行なっている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-5 心研 2023年度心身科学研究科FD活動報告書				
6-6 心研 ニュース&イベント 健康科学専攻の「夏のセミナー」【 https://www.agu.ac.jp/topics/20230731-02-2/ 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心身科学研究科では、研究科自己点検・自己評価委員会、FD活動、研究科会議において教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っている(根拠資料6-7心研)。</p> <p>(2) 教員組織の適切性についての自己点検・評価結果については研究科会議で情報共有され、問題点の改善と教員組織の向上に向けた取り組みがなされている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-7 心研 心身科学研究科自己点検・自己評価委員会2023年度議事録				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に行っている場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2023年度(評価対象期間:2023年4月~2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)心理学専攻では「心理臨床センター」での臨床相談実践が最も重要な社会貢献であり、日進キャンパスにあるセンターにおいて地域一般住民からのこころの相談を受け付けている。健康科学専攻専任教員は学部活動との境界が明確ではないが、名古屋市の主催する健康カレッジと連携した市民教育を行い、さらに研究科学生も含めた活動として日進市在住の高齢者を対象とした「健康づくり教室」の開催を行っている(根拠資料9-1心研、9-2心研、9-3心研)。</p> <p>(2)心理学専攻の臨床心理学コースの大学院生は、心理臨床センターにおいてケースを担当し、心理臨床について実践的学習をしている。健康科学専攻の博士前期課程学生や博士後期課程学生は指導教員とともに長寿医療研究センター、一般医療機関、日進市などと連携した研究を進めている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
9-1 心研 心理臨床センターウェブサイト 【 https://www.agu.ac.jp/organ/psychology/ 】				
9-2 心研 なごや健康カレッジ 健康長寿を目指して(愛知学院大学) 【 https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000119778.html 】				
9-3 心研 ニュース&イベント 地域在住高齢者に対する「第2回健康づくり教室」を開催 【 https://www.agu.ac.jp/topics/40694-2/ 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)心身科学研究科では、研究科自己点検・自己評価委員会が主体に専任教員および課程在籍学生の社会連携・社会貢献について点検・評価を行っている。専任教員個々は、自らの社会貢献を含めた業績をデータベース「研究業績プロ」に登録することで取り組みの振り返りを行っている(根拠資料9-4心研、9-5心研)。</p> <p>(2)研究活動などの専任教員活動が直接的あるいは間接的に社会貢献となっていることを踏まえ、これらの活動情報を公開・共有することで、研究科全体の社会連携・社会貢献の改善・向上への取り組みを行っている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
9-4 心研 心研自己点検・自己評価委員会議事録FY2023				
9-5 心研 研究業績プロ 【 https://aris.agu.ac.jp/aiguap/P300 】				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A